

(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	一般社団法人 鳥取県建設業協会
-----------	-----------------

事業等の名称	高校生の現場見学会
主な対象者	高校生、大学生（保護者含む）
主な取組区分	現場見学
1. 実施時期 (1) 令和元年10月 8日（火） 9時～15時 (2) 令和元年11月12日（火） 12時50分～14時10分	
2. 実施場所 (1) 鳥取自動車道北村橋第2下部工事 鳥取市北村 (2) ①国道178号（岩美道路）橋梁下部工事（3工区） 岩美郡岩美町浦富 ②国道178号（岩美道路）トンネル工事（仮称 岩美1号トンネル） 岩美郡岩美町陸上～牧谷 ③鳥取養護学校連絡棟外整備・内部改修1期工事（建築） 鳥取市江津	
3. 対象者（参加見込又は参加者数） (1) 鳥取県立鳥取緑風高等学校 総合学科昼間部1年生 31名 引率教諭 5名 (2) 鳥取県立鳥取工業高等学校 建設工学科1年生 38名 引率教諭 2名	
4. 共催・単独等の開催状況 単独	
5. 事業等の内容 現場見学及び現場見学会感想文の配布	
6. 期待される効果（実施結果：効果） 建設業への理解と関心を高め、進路意識の高揚	
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 見学現場の選定	
8. その他	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。



令和元年度

高校生の現場見学

鳥取県立
鳥取工業高等学校

令和元年11月12日(火)

建設工学科 1年

- ① 国道178号(岩美道路)橋梁下部工事
(岩美郡岩美町浦富) (3工区) (補助)
- ② 国道178号(岩美道路)トンネル工事(仮称:岩美1号トンネル)
(岩美郡岩美町陸上~牧谷) (補助)
- ③ 鳥取養護学校連絡棟外整備・内部改修1期工事(建築)
(県立中央病院建替整備事業に伴う工事 鳥取市江津)

見学会に参加して



現場見学をしていただき、誠にありがとうございます。一件目の国道づくりの見学では、道路を支える柱一個建てるだけでも一年間かかることと、国道を作るのに作業員が約10人と少ない人数で働いていることに驚きました。あの国道が豊岡につながって完成するのが待ち遠しいです。

二件目のトンネルの作業の工程の見学では、作業途中のトンネルがマスク越しでも分かるほどニオイがきついていたのが分かりました。あの中で毎日トンネルを掘っている作業員はすごいなと思いました。トンネルを掘る方法で機械を使って掘る方法とダイナマイトを爆発させて掘る方法の2つあることが分かりました。でも、ダイナマイトを使用するときに、周りの環境や近所の迷惑などを考えて使わないといけないので、トンネルづくりも大変なことが分かりました。

三件目の鳥取中央病院の見学では、ほとんど見ることでできない解体作業中の現場を前から見たいと思っていたのでよかったです。特に頭に残ったことは、タワークレーンを操作する人が、雨が降っていても、風が吹いてい

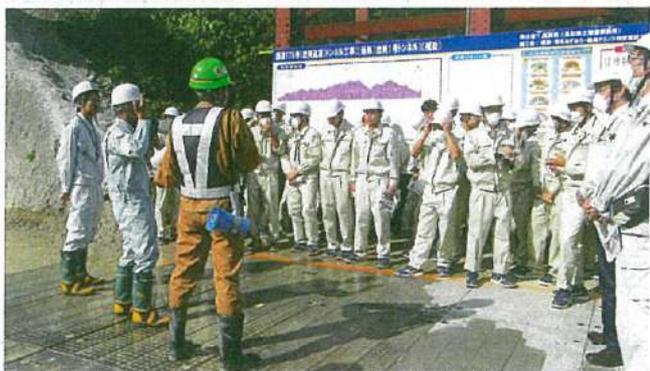
ても毎日命綱1本で50メートルの梯子を昇り降りしていたことに感心しました。

僕は、何も考えず建設工学科に入って適当に就職しようと思っていたけど、今回の現場見学で少し就職先について考えるようになりました。



今日は僕たちのために現場見学を企画してくださりありがとうございました。

僕はトンネル工場の現場を見学したのがとても心に残りました。その理由は、普段何気なく利用しているトンネルがこのようにして造られているのだと、初めて知ったからです。僕は父が土木関係の仕事をしているので、トンネルなどについてよく教えてもらいます。その時は、大きな機械で山に穴を掘る方法しかないと思っていましたが、今日の見学で火薬を使用し、爆破させて山に穴を開ける方法もあると知りました。その



後の話で、僕は火薬を使っただけで爆破ですぐに穴が開くのだと思っていましたが、1回の爆破で最大でも2メートルしか穴が開かないことを知って、トンネルを掘る作業はとても地道な作業だと思いました。

僕は建築関係の進路に進もうと思っていますが、今日の見学で土木も楽しそうだと思いました。土木と聞くと、外でやる作業だから大変というイメージがありましたが、トンネルの現場見学でとても地道で大変だと思うけど、こんな大きなスケールのものができるのだと感動して、土木に対するイメージが良くなりました。

建築、土木のどちらに進むにしても、今は高校の勉強がとても大事なので頑張っていきたいとつくづく思いました。

鳥取工業高等学校

今日の見学での貴重な体験は、今後の授業や実習だけでなく、その先の進路にも生かせるものとなりました。その中で自分が一番関心を持ったのは、旧中央病院の建物の外側に取り付けられていた鉄骨耐震ブレースを拝見させていただいた時と、竹竿を使ってコンクリートを打ったという話を聞いた時です。鉄骨耐震ブレースを拝見させていただいたときは、工事のスケールの大きさに驚いたと同時に、ブレース自体の大きさに驚きました。このブレースには意味があるのかなと思っていましたが、当時建物を災害から守るために、職人さんが一生懸命取り付けられたと聞いて感動しました。私は建築について学ぶ際、今の建築にも先

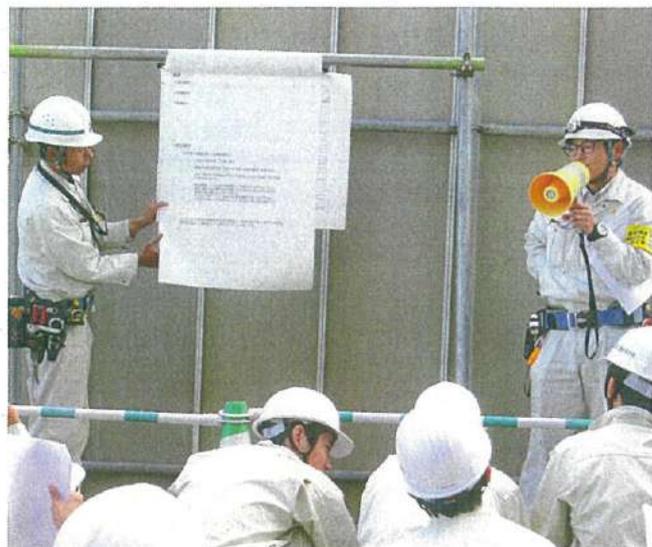
人の知恵を取り入れるべきだと思っていました。なので、竹竿を取り入れられたという話を聞いたときは、とても興味深かったです。

中央病院での見学中に女性の作業員の方がおられました。男性方にも負けずに作業しておられる姿は誰よりもかっこよかったです。今回の岩美道路・トンネルの現場でも、新旧中央病院の現場でも作業中にもかかわらず、近くで見学させていただいて本当にうれしかったです。

これからの高校生活で、土木・建築について一生懸命勉強して、少しでも地域社会に貢献できる人材になりたいと思います。

鳥取工業高等学校

今回初めての現場見学でいろいろなところへ行き、いろいろなものを見ることができてとてもいい経験になったと思う。岩美道路では、大きな重機を使って少人数で作業していて、リアルな作業内容が分かって良かった。岩美道路は、医療機関への移動時間の短縮、災害時の交通確保、交通事故の減少や渋滞の緩和など、私たちが生活していく中でとても重要な場所だということが分かった。トンネル工事では、まだ未完成のトンネルの中に入った。トンネルの中を歩いたこともなかったし、普段何気なく通っているトンネルの工事が見られたのはとても良かったと思う。また、トンネル工事では一日にわずかな距離しか掘り進むことができないと知り、大変な作業だと思った。中央病院では、近い距離で作業を見ることができ、迫力を感じることができた。解体の作業も大きな重機を県外から持ってきていると聞いて驚いたし、解体する費用に7億円もお金がかかるとは思わなかったので、すごい規模だと思った。今回の現場見学では、様々な工事現場を見て、いろいろな人の働きを生で見ることができて良かった。また、ただ工事するだけでなく、周りの環境



を考慮しながらやっていることが分かった。今回いい経験ができたので進路に役立てたいと思う。

鳥取工業高等学校

今日、現場見学をして学んだことが五つあります。一つ目は、作るためにはいろいろな職人さんがたくさん必要ということが分かりました。その仕事には魅力を感じました。二つ目は、資格がすごく大事ということが分かりました。仕事一つ一つに資格が大事だとわかり、僕もたくさんの資格を取れるよう勉強を頑張っ、なるべく多くの資格が取りたいです。三つ目は、すごく大きな場所や物や建物を扱うときには、すごい大きなお金が動いていることが分かりました。さらに、中央病院を解体をするだけで、約7億円必要だと聞き衝撃を受けました。四つ目は、すごく大きな場所や物や建物を扱うときには、たくさんの人が携わることが分かりました。コミュニケーションをとるのが難しそうなので、もしたくさんの人と仕事をする機会ができれば、コミュニケーションをとることも頑張っていきたいと思います。五つ目は、すごく長い労働時間が必要なことが分かりました。

今回はこのような体験をさせていただきありがとうございました。

鳥取工業高等学校



今回、現場見学に行きました。最初は、道路を作っている現場に行きました。作っているところは、車から何度か見たことはあるのですが、あんなに近くでみるのは、初めてでした。杭が大量に打ってあることなども初めて知りました。知らないことが知れてとても良かったです。

次に行ったトンネル工事では、トンネルの中に入れてもらえました。作っている途中のトンネルに入るのは初めてで凄いわくわくしましたが、においが少しきつくて、慣れるには時間がかかるのだろうなと思

ました。でも、すごく貴重な体験でとても楽しかったです。

最後に行った中央病院の建設現場では、貴重な話を幾つも聞くことができました。現場見学では、自分の知らない専門用語などがたくさん出てきて、とても勉強になりました。これまでは、公共施設などの大きな建物にはあまり興味が無かったのですが、今回の現場見学で興味が湧いてきました。他には、冬の寒い中職人さんたちは頑張っているという話を聞いて、とてもすごいなと思いました。

将来は建設関係の仕事に就きたいと思っているので今回の話を胸の片隅に置いて勉強を頑張りたいと思いました。

鳥取工業高等学校

今日の現場見学はとても良い勉強になりました。まず岩美の道路建設は、鳥取と様々な県とつなぐ大きな道路をつくる現場を、たった10人ほどで担当しているのに驚きました。次に、トンネルの中を見ました。初めて見ました。とても良い体験でした。できれば、爆破している所も見てみたかったけど、さすがに無理でした。トンネルは、1日に少しずつしか掘れないので、すごく長い時間が費やされているのに感謝しないといけないと思いました。最後の中央病院は、解体作業と、増築作業の現場を見ました。増築よりも解体のほうが多く費用がかかっているのに驚きました。鳥取で1番高い建物を解体したり、増築したりしている最中にも普通に病院は使われているので、最大限気を使って作業するのは、とても大変だと思いました。でも、作業が順調に進んでいるのは、さすがだなと思いました。冬の作業は特にすごいなと思いました。また、中央病院の設計士さんは、すごくユニークな人だと思いました。1階のロビーは高級ホテルのような作りで、談話スペースは眺めがとても良く、夏の千代川の花火が1番綺麗に見えるので、とても良いと思いました。僕も1度見てみたいと思いました。とても良い現場見学ありがとうございました。

鳥取工業高等学校

今回の現場見学で、普段使っている道路や橋やトンネルがどのようにして作られているか、またどういう構造なのかについて、見て考えることができました。特に、普段何気なく使っているトンネルも、道路の幅や天井にかかる負荷を計算したり、水がたまらないように角度をつけたりしていることが分かりました。そして、トンネルを作る時に使う機械などもたくさん種類があって、初めて見るものがたくさんありました。

また、トンネルを掘る時に、1～3メートルぐらいしか進まないと聞いてとても大変なんだなあと思いました。昼からの病院の現場見学では、病院の渡り廊下を作ったり、古い方の病院を解体していました。家の解体などは近くで見たことがあったけど、病院は大きいので使う機械も大きくて、とても迫力がありました。古い方の病院を解体するのにかかるお金が7億円だと聞いて、とても驚きました。そして、解体にかかる時間が約7700時間ぐらいだと書いてあって、とても大変な仕事だと思いました。自分は将来土木の仕事に就きたいと思っているので、学ぶことがたくさんありました。



鳥取工業高等学校

今日、現場見学で回った3つの現場の中で私が最も印象に残ったのは、最初に行った国道178号線岩美道路です。話を聴いて、上部工を支える下部工は、杭を打ったり、杭を打ち込むにあたって邪魔となる石を取り除いたり、矢板締切などの過程でおよそ1年もの歳月を要することや、約2億円の費用が掛かっていることに驚きました。さらに、それを10人弱で作業していることになおさら驚きました。私は将来、土木の道に進みたいと考えているので、今回の話はとても参考になりました。

鳥取養護学校連絡棟外整備・内部改修1期工事の見学について、特に印象に残っている話は、災害があっても問題のないように改修しているということです。例えば地震に関しては、過去の耐震の為の設備をさらに強いものにしたり、近年多発している洪水や先述した地震による津波で1階が水に浸かっても、国道9号線のバイパスから直接病院の2階に入ることができたり、停電になったとしても3日間は電気を供給できること、医療ガスも10日間以上の備蓄があることなど、いついかなる災害が起きても対応できるようにしているところに敬服しました。

今回の現場見学は進路を決める際にとっても役に立つと思います。

鳥取工業高等学校

今日は「国道178号岩美道路」と「鳥取養護学校連絡棟外」の現場見学に行きました。

僕が特にすごいなと思った所はトンネル工事でした。その理由は、初めて工事途中の現場に入りトンネルの中を見て、こうやってトンネルは作られているんだと思い、とても迫力があつたからです。そして、とてもトンネルを掘る作業に興味を持ちました。工事をしている人が、土木工事は自然に左右されると言っていて、計画しているのに自然のせいで計画をやり直さないといけなことに驚き、大変だと思いました。

橋を作る詳しいことを聞いて僕は、ものすごく大変だと思いました。そして、ものすごくお金がかかり驚きました。

鳥取養護学校連絡棟外の工事現場では、旧鳥取中央病院の解体作業を見させていただきました。そこで驚いたのが、解体するための費用でした。その額、7億と聞きびっくり仰天でした。見た感じでも解体工事の大変さは伝わってきました。そして、僕はその解体している姿を見て、とてもすごいと感じ興味を持ちました。僕もあのような機械を操りたいと思いました。そして、この工事ではものすごく人手がかかっていてお金もかかり大変だと思いました。

毎日僕たちが何気なく使っている道や建物も、誰かが苦勞して作った物なので、感謝をしないとイケないなと思いました。今日習ったことは将来必ず役に立つので、しっかりと覚えておきたいです。また、工事現場の方が言っていたように、建物などの工事は大変だけど、工事が終わった時の達成感は何ものすごいので、いつか自分もこのような達成感を味わいたいと思いました。

鳥取工業高等学校





鳥取県立 鳥取緑風高等学校

令和元年10月8日(火)

鳥取自動車道 北村橋第2下部工事



道路を新しく作る工事現場を見たことがなかったので、貴重な体験ができました。道路も家と同じように、岩盤まで杭を打ち込むことは知りませんでした。実際に杭を打つところを見ることができて、大変な仕事だと本当に思いました。

鳥取緑風高等学校

道路の工事現場を初めて見た。クレーンや掘削機を見たのも初めてで、しかも最新技術を取り入れているということを知ることができて、安全で丈夫な道路をつくるためには、高度な機械、最新技術を使った高度な技術が必要なんだと感じた。道路は鳥取に住んでいると必要不可欠なものなので、大切な仕事だと思った。

鳥取緑風高等学校

建設には、土地やコンクリートだけではなく、地盤沈下しないために気泡を使ったとても軽いものを使っていることが分かりました。土よりコンクリートが重いようだったけれど、体感の水を含んでいるからか土のほうが重かったです。実際の材料を見て、触らせてもらったのも良い経験でした。

鳥取緑風高等学校



現場を見学して説明を聞き、とても人の役に立つ仕事だと思いました。私自身も将来、自分に合う仕事をして、たくさん役に立ちたいと思いました。

鳥取緑風高等学校

FCBはコンクリートや土に比べて、とても軽くてびっくりした。請負金額が2億を超えていて、スケールが違うと感じた。着用しておられるヘルメットの色が違うのは、理由があるということがわかった。工事を安全に順調に進めるための工夫がしてあることがわかった。

鳥取緑風高等学校

道路建設では、たくさんの人やお金や技術が使われていることがわかりました。道路工事の現場を見るのは初めてで、興味深く感じました。また説明を聞きながら見学したので、身近に感じられたものもあり、勉強になりました。完成するのが楽しみです。

鳥取緑風高等学校

実際に見ることで、どんなふうに進められるのかわかった。大きいクレーンを使って重そうなものを持ち上げたり、移動したりしていて迫力がありました。完成してここを通るときは、今日の見学を思い出したいと思います。

鳥取緑風高等学校



(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	一般社団法人 鳥取県建設業協会
-----------	-----------------

事業等の名称	インターンシップ
主な対象者	高校生、大学生（保護者含む）
主な取組区分	体験学習、職業体験
1. 実施時期 (1) 令和元年 9月 9日（月）～13日（金）5日間 鳥取工業高等学校 (2) 令和元年 9月18日（水）～20日（金）3日間 倉吉農業高等学校 (3) 令和元年10月23日（水）～24日（木）2日間 米子工業高等学校	
2. 実施場所 鳥取県内	
3. 対象者（参加見込又は参加者数） (1) 鳥取県立鳥取工業高等学校2年生（土木12社16名、建築11社22名） (2) 鳥取県立倉吉農業高等学校2年生（土木3社3名） (3) 鳥取県立米子工業高等学校2年生（土木8社16名、建築8社15名）	
4. 共催・単独等の開催状況 単独	
5. 事業等の内容 職業体験を行う研修	
6. 期待される効果（実施結果：効果） 職業選択におけるミスマッチの減少 社会人としてのコミュニケーション能力の育成及びマナー習得 望ましい勤労感、職業観を養う建設業への理解と関心を高め、進路意識の高揚	
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他 受入れ企業は、鳥取県の「インターンシップ研修受入企業支援交付金」を利用し、人件費の助成を受ける	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

米子工業高校2年生

西部業界でインターンシップ

図面作成などを体験

イワタ建設で

米子工業高等学校建設科2年生のインターンシップが、県西部建設業協会員8社の協力で今年も実施された。米子市蚊屋のイワタ建設には、土木コースから今井昭仁(あきと)君・古屋海弦(みづる)君の2人が研修に

訪れ、完成現場の見学やCADを用いた図面制作などを体験した。

初日は津村寛司常務の案内で、同社が施工した皆生海岸富益外養浜工事「米子市富益外」をはじめ、事業概要の説明を受けた。2日目は竣工を間近に控えた佐陀川砂防堰堤(K1)工事(1工



製図に取り組む古屋君と坪内さん

区「伯耆町丸山」の現地見学を予定していたが、天気は生憎の雨。屋内でのCAD実習にスケジュールを組み替え、同社土木工事に勤める

る米工OB・坪内龍也さんが指導にあたった。印象に残った点を尋ねると、「潮の流れ・波の侵食についてや、レベルブックの使い方を教わったこと」今井君。また古屋君も「サンドリサイクルの仕組みやタムの機能を挙げ、人々の生活を支えている仕事なんだと改めて実感した」と話した。一方将来について、バスケットボール部に所属する今井君は「体を動かすことが好き」、また「モノづくりに興味がある」という古屋君は「クリエイティブな仕事に就きたい」と、漠然とした方向性は定めていないようす。坪内さんは「測量もCADも戸惑ったのは最初だけで、すぐに順応できた。学校で十分に学習できている」と2人を評し、「学校で学べないことが現場にはたくさんある。今回学んだことをこれから活かしてもらえれば」とエールを送った。

測量設計業務を学ぶ

はじめに測量業務の概要についての講義を受講。続いて、実際に会社が所有する機器を使って操作方法を学び、午後からはヒノコンサルタン



伯耆町北谷での現地実習の様子

県立米子工業高等学校(龍田浩史校長)建設科2年生のインターンシップが2日間に渡って行われた。米子市日久美町のヒノコンサルタン(松本義政社長)での研修には、坂金嵐さん、谷口涼太さんの2人が参加。自身が専攻している測量設計業務について、実践を通して学びを深めた。

研修初日、松本社長との挨拶を終えた2人は、設計の修正を目的とした、流路工詳細設計業務が行われている。2人は引率社員から業務内容や機材設置の方法について説明を受けたあと、スタック担当と測量機操作担当とに分かれて測量を実施。社員の丁寧な指示に従い、着実にこなしていった。途中で役割を交代しつつ無事に作業を終え、最後に引率社員の

見学。斜面を登り、藪の奥深くまで分け入って業務にあたる社員の姿に、2人は感心しきりな様子だった。2日目は設計業務についての指導を受け、職業体験を終えた。

現地実習の感想を尋ねると、「授業で行うのとは違って、実際の現場だと緊張感があった」「地面が凸凹しているの、計測が難しかったとのこと。また、将来については「迷っていますが、いずれは土木関係の道へ」就職を考えているが、具体的な進路については未定と語ってくれた。

未来ビジョン策定

石塚計画デザイン 若桜町

若桜町は公募型プロポーザル方式で公告していた、若桜町未来ビジョン策定業務「若桜町内」の審査結果を25日に通知した。同業務の委託候補先と

して、応募のあった3者の中から石塚計画デザイン事務所を選定した。28日から同者と契約協議を開始している。

業務内容は懇話会の企画運営業務、未来ビジョンの策定業務などで、策定業務には若桜駅前周辺のまちづくり計画なども含まれる。履行期限は20

20年3月

ly Guide

会古関金道路の地場見学会(上古川午前9時30分) ルタンツ協会中国意見交換会(県庁午後3時) 協同組合中国ブ(米子ワシントン後3時)

用地予約分譲募集(13日) タワー育成研修会事務所第16会議室(0分)

文化の日 長替休日

産売却3件 ・28日入札

活用推進課

資産活用推進課 産3件を一般競争する。

入札 市団地=境港市誠宅地・面積433.01 札価格494万円。

入期限11月20日 団地第二宿舍・也第三宿舍=鳥取

35番、941番=宅75.38㎡(土地上C4F宿舍4棟延

.84㎡など延べ面積は、支障物撤去が条件。最

低5610万円。入札 限11月20日

入札 駐車場・湯所第二=鳥取市湯所町2、310番=宅地・

メール配信予定

期間は多少前後します

予報、入札結果 pdf

予報、入札結果 予報、入札結果 まとめ

ドライモルタル

(プレミックスモルタル) 一般用 (1:3モルタル) 超速乾 (硬化時間30分) ノンソルト (無収縮グラウトモルタル) その他工事毎の配合も可能です。



フォームメント

(法面工事資材) 特殊モルタル吹付工A 特殊モルタル吹付工B 岩接着工 (間接接着工)

WR CUTTER

出張施工も可能です

- ・側溝の残存部分が衝撃・振動により傷まない
- ・消音ブレード仕様の低騒音型機械なので、騒音と振動が
- ・粉塵の飛散もないので環境に優しい
- ・狭い場所でも早く安全な作業が可能



令和元年 雪対策協議 後2時から ター大会議



由良宿く西園間640m 道路詳細設計に着手

北栄町地内で29日配信済み(無料メール)記事) 県中部総合事務所は、山陰道・北条道路と県道倉吉由良線と結ぶアクセス道路を新たに建設する。北栄町にある「道の駅大栄」の東側に設置されるインターチェンジ

と県道をつなぐアクセス道路で、同事務所県土整備局では詳細設計に入る。北条道路の大栄ICについては2015年に国から計画が説明され、その後国交省や地元北栄町などと協議を進めながら整備の在り方を検討している。アクセス道路の基本ルートは、自動車学校などがある同町由良宿地

新愛称「チュウブ」こどもの国

記念イベントで芝生植付

鳥取市浜坂にある「県立鳥取砂丘こどもの国」が今年4月に「チュウブ鳥取砂丘こどもの国」となったことを受け、26日に新愛称を記念した芝生の植え付けイベントが同所で開かれた。

このイベントは、新愛称の普及のため、ネーミングライツ制度で命名権を取得したチュウブ琴浦町・小柴雅央社長、県観光事業団と県が共催で開いたもので、地元サッカーチームに所属する小学生やその保護者など約50人が参

加した。はじめに、チュウブの小柴社長が「みなさんがこの公園で遊んで、運動して心身ともに鍛えて、Jリーガーなどの皆さんの夢が叶う公園皆さんの思い出になる公園になることを祈念いた



芝生を植え付ける地元の小学生

れ、ガイナレ鳥取のサブグラウンドにも使用されている。品質がよく、美しい緑色が長続きすることが特徴で、近年は関東などの運動公園にも多く出荷されている。

します」とあいさつ。その後、小学生らが公園内の木製塔遊具付近に芝生を植え付けた。

この日植え付けられた芝生の品種は「グリーンバードJ」。鳥取県園芸試験場で30年かけて開発された。

米工生がインターンシップ

大松建設で現場体験

県立米子工業高校(龍田浩史校長)2年生は23、24の両日、米子市建設業協議会会員の各社で、インターンシップを実施した。来春に就職活

現場を体験した池本君は「現場の雰囲気や仕事を学べて良かった。人のためにやる仕事」と感じ、やりがいのある仕事だと語った。また、奥田一輝君は「作業をしてくれる人がいることで僕たちの生活が豊かになっていく」と感じ、いい経験をした」と述べた。



測量機器を扱う奥田君(右)と池本君(左)

現場の見学や具体的な作業に触れた。

米子市彦名町の大松建設(大松啓介社長)は2人の生徒を受け入れ、現在、大松建設・大協組・岩崎組JVが施工している江府町庁舎建設工事の現場(旧江府町中学校跡

ハイスの延長は640mで、車道部の幅員は8mを予定している。事業期間は今年度から5カ

ルタントに委託してあり、国交省や地元と調整しながら工事計画をまとめていく考え。

県警察本部調達公告 (29日付)

開札日時	応募対象	工事・業務名	入札方式	予定価格(税込み)	工期・履行期間	概要
11月14日 午前9時30分	県内区画線工	鳥取市天神町地内外道路標示塗装及び抹消工事(8-2工区)＝鳥取市天神町地内外	制限付き一般競争	1511万1800円	20年3月23日	白色実線15cm幅L420m、白色548m、白色横断線L2865mほか
11月14日 午前9時45分	県内区画線工	鳥取市国府町宮下地内外道路標示塗装及び抹消工事(8-1工区)＝鳥取市国府町宮下地内外	制限付き一般競争	1119万1400円	20年3月16日	白色実線30cm幅L347m、白色m、黄色実線15cm幅L2430mほか
11月14日 午前10時	東部区域標識	鳥取市永楽温泉町地内外道路標識設置工事(8工区)＝鳥取市永楽温泉町地内外	制限付き一般競争	1317万2500円	20年3月23日	反射式標識板(本板)取付268枚板(大型本板)取付4枚ほか
11月14日 午前10時15分	西部区域標識	米子市吉谷地内外道路標識設置工事(10工区)＝米子市吉谷地内外	制限付き一般競争	1000万0100円	20年3月23日	反射式標識板(本板)取付186枚
11月14日 午前10時30分	中部区域標識	倉吉市新町地内外道路標識設置工事(9工区)＝倉吉市新町地内外	制限付き一般競争	327万9100円	20年3月23日	反射式標識板(本板)取付50枚
11月14日 午前10時45分	県内建築設備設計	令和元年度警察施設定期点検業務委託(設備)＝鳥取市東町1丁目外22カ所	制限付き一般競争	247万1700円	20年2月28日	警察署管施設建築設備調査・点検所、35棟
11月14日 午前11時	県内区画線工	西伯郡伯耆町大原地内外道路標示塗装及び抹消工事(10-1工区)＝伯耆町大原地内	制限付き一般競争	1031万3600円	20年3月23日	白色実線15cm幅L616m、白色405m、白色横断線L2929m
11月14日	県内区画線工	境港市巾野町地内外道路標示塗装及び抹消工事(10-2工区)＝境港市	制限付き	827万2000円	20年3月16日	白色実線15cm幅L1670m、白色

(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	一般社団法人 鳥取県建設業協会
-----------	-----------------

事業等の名称	地元紙を利用した情報発信
主な対象者	一般
主な取組区分	広報誌、新聞、インターネット
1. 実施時期 (1) 令和元年8月31日(土) (2) 令和2年1月1日(水)	
2. 実施場所 日本海新聞	
3. 対象者（参加見込又は参加者数） 一般	
4. 共催・単独等の開催状況 単独	
5. 事業等の内容 (1) 日本海新聞の防災の日特集号に、鳥取河川国道事務所長、鳥取県県土整備部長、建設業協会会長が座談会形式で、これからの防災・減災対策、建設業界の活動についての記事を掲載 (2) 日本海新聞の新年特集号に、「暮らしを守る～自然災害と戦う建設業～」と題し、災害時に地域や暮らしを守る建設業の活動についての記事を掲載	
6. 期待される効果（実施結果：効果） 建設業の役割を広く周知する イメージアップ	
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他 (公財) 建設業福祉共済団広報活動利用	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

災害に強い鳥取に

鳥取県にも被害をもたらした2018年7月の西日本豪雨の猛威は、まだ記憶に新しい。16年には鳥取中部地震もあった。国は今、災害時に人命、経済、暮らしを守り支える重要インフラの機能を維持できるように、予算を大幅に増額し国土強靱化のための3カ年緊急対策を進める。災害に強い鳥取の県土づくりを目指し、これからの防災・減災対策を官民の関係者に聞いた。

【座談会】これからの防災・減災対策

自治体と情報共有や伝達 ハードとソフト両面大切 コンクリート構造物手当てを 山根氏

「近年の災害を振り返り、感じました。」

山根 4月に赴任し、鳥取での災害対応経験はないが、緊急対策から復旧、復興へつなげる重要インフラの管理を担う部署として重責を感じる。現場対応は国交省だけではなく、建設業界を含めた地域全体での対応が必要。

草野 土地の歴史、成り立ちを鑑みるのが重要だ。しばらく災害がないと、その土地が安全だと思いがちで、危険性があるが、そのために防災工事の進捗を遅らせるか、豪雨時になかなか避難しないとか、そういうことに陥ってはいけぬ。

山根 「初動をとにかく早く」という思いでやっている。地震では建物被害への対応が割と不慣れだった。豪雪時の除雪では、排除した雪で道幅が狭くなるため、道路の規格の変更も必要だと感じた。

「災害に強いまちづくり実現に向け、どのような支援、取り組みができるか。」

橋本 県、市町村と信頼関係を構築し、情報の共有、伝達をしっかりとかなければならない。避難行動などに必要な情報もただ単に伝えるのではなく、伝わる情報を出していく。「災害を正しく恐れ、もたらすため、過去の経験、知識を伝えていくことで、地域での学びの場も大事だ。」

草野 もっとも危険な場所にあるハード対策が基本だと思うが、時間と予算を要するので、その間のソフト対策が重要視される。どこまで水が来たら危険かを知らせる洪水の浸水想定区域図、気象警報など避難のタイミングの情報を出すこともその一つ。浸水想定区域図を基に作成した「支え愛マップ」を使い、どういった経路でどこに逃げるか、地域の方が自ら情報を持ち

出席者
橋本 浩良氏 (国土交通省鳥取河川国道事務所長)
草野 慎一氏 (鳥取県国土整備部長)
山根 敏樹氏 (鳥取県建設業協会会長)
司会 森原 昌人 (新日本海新聞社論説委員長)

鳥取県建設業協会会長
山根 敏樹氏



鳥取県国土整備部長
草野 慎一氏



鳥取河川国道事務所長
橋本 浩良氏



山根 建設投資額がずっと減っていた。その間、耐用年数約50年といわれているコンクリート構造物などが、あまり手当てされず時間が過ぎていった。(構造物は)永久的に安全が担保されるものではないので、建て替えやメンテナンスなど延命措置を継続しなければならぬ。近年の雨の降り方な

山根 耐震性能の高い住宅に対する国の補助金制度がもう少し進めば、家の倒壊をある程度防げることができるとは思いますが。また、豪雨時でも、高齢者が、先の避難所に行くことは難しい。「よういかん」「分りにくい」という声があるのですね。近く近場に公共施設があればと思う。

草野 津波対策には検討の余地がある。津波の高さは過去の経験の範囲で設定しているだけで、それよりさらに大きな津波がこないとも限らないから、そのことへの備えも必要だ。

橋本 鳥取西道路が全線開通した。現道の国道9号の山側に新しい道路ができた。災害時の交通ネットワークを確保する意味でも大きなメリットとなる。

「昨年末に閣議決定した防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策をどう推進していくか。」

橋本 インフラ緊急点検の結果や、災害から得た教訓を踏まえ、ソフト、ハード両面から集中的に取り組み。ソフト対策では、ハザードマップ作成などに必要な情報を出して徹底周知していく。ハード対策は、河川では堤防強化、河道内の樹木伐採、河道掘削に取り組み、被害の防止、最小化を図る。道路では災害時の避難、救助、復旧・復興に不可欠な重要インフラの機能を強化し、交通ネットワークの確保を図る。

草野 本年度の鳥取県の国土強靱化関連予算は約75億円。昨年、緊急のインフラ点検を行い優先度が高いもの、河道掘削や樹木伐採、砂防堰堤の増設などに着手する。道路の関係だと、斜面落石の防止、水に浸かりやすい道路のかさ上げ、雪を寄せると雪帯幅などをこの予算で取り組もうとしている。

橋本 緊急対策をやるには、建設業界との連携が不可欠。地方自治体、建設業界と顔の見える関係で取り組める形が基本であり、大事なことで、実践することで、若い人材を育てることに貢献していく。

山根 平均年齢が約50歳と高い業界。昔から3Kと言われてきたが、今は全県で「給料がいい」「休日十分ある」「希望が持てる」。新3Kを実践することで、若い人材を育てる



昨年の台風24号で崩壊した国道179号の応急作業(昨年10月) = 県建設業協会提供

建設業界と連携必要 住民協力で工事進む 人材育成と技術継承

橋本氏

草野氏

山根氏

力を持ち、それによって災害復旧にも対応できる体力を付けていくことと一生懸命やっている。働き方改革が複雑に絡み合い、国土強靱化まで本意に向かっているのかという葛藤もあるが、我々にはそれに勝る「地域を守るんだ」という使命感、プライドがある。

山根 現場の高齢化の話が出たが、現場の第一線の技術などを一緒にに継承、開発していきけるような取り組みも必要なのではないかと思う。

草野 昨年の西日本豪雨で、県内の県管理分では約490カ所。うち復旧完了が47%、工事中が32%。未契約は21%ある。地域のためとはいえ、適正な利潤が出ない限り民間として、赤字の仕事を続けて受注できないことは十分理解できるので、発注者としてそこは考えないといけない。建設業界は地元を熟知し、災害時には場合によっては自衛隊より先に現場に入るなど、地域貢献度が高い業界なので、互いに継続性ある地域づくりに携わられるよう模索していく。

山根 理想は安定的な仕事を供給してもらい、適正な利潤を得て人を育てていくこと。人に投資できる良い循環をつくることで、地域の安全が守られていくと考える。

橋本 災害時は地域住民、地域社会との連携が重要だ。最後に県民へのメッセージを。

草野 道路のひび割れ、斜面からの落石など県も把握する努力はしているが、もしそれに気付いたら最寄りの国土整備事務所、あるいは市町村の建設課などに連絡してほしい。現場を見ていち早く対応できる。また、公共事業の実施に当たって、所有者不明の土地も多いので、土地所有の整理について住民の協力があれば、防災工事の時間のロスも縮小できる。

山根 落石など住民が得た危険情報を行政に伝えたり、お年寄りに声を掛けて避難を促すなど高齢化が進む地域で、行政と住民のパイプ役を担うことができればと思っている。

「自然災害の発生は避けられないが、それぞれの立場で、また連携して、犠牲者が出ない災害に強い県土づくりに今後も尽力していきたい。」

「建設共済保険」以外にも、次のような事業を行っています。

- 育英奨学事業** 被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。
- 労働安全衛生推進事業**
 - 安全衛生用品の頒布
 - 女性専用トイレ導入費用に対する助成
 - 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人
建設業福祉共済団
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門平タワー11階

詳しい情報、掛金試算などのお問い合わせは
Tel.03-3591-8451 Fax.03-3591-8474

■ 取扱機関: (一社)鳥取県建設業協会

契約者と業界の発展のために **建設共済保険** **検索**
http://www.kyousaidan.or.jp/

備えることは、守ること。

安い掛金、手厚い補償。(障害7級まで)

働く人の想いに応える、安心を。

建設共済保険

法定外労災補償制度

暮らしを守る

全国で次々と起こる大規模な自然災害。被災地では復旧や生活再建が遅々として進まない実態が浮き彫りとなる。社会資本の整備・維持や環境の保全・創造だけでなく、人々が安全に安心して暮らせる防災・減災対策、災害復旧活動も建設業が果たす大切な役割の一つだ。担い手確保のため、働き方改革の実現を見据えながら、国が推進する「国土強靱化」を支える業界の動きを紹介する。

自然災害と闘う建設業

防災を担う 地域建設業へ期待

鳥取県知事 平井伸治氏



明けましておめでとうございます。昨年は台風15号、19号が相次いで関東地方に上陸するなど、東日本を中心に甚大な被害が発生し、一昨年には7月豪雨と台風24号で本県においても平成最大の公共土木被害が発生し、現在も復旧工事が続いています。

地域に根差した建設業は、これら災害時には緊急輸送路の確保や堤防を補強するための土嚢の設置など、まさに最前線で活動されます。また、人口減少社会の中においても公共インフラの整備や維持管理だけでなく、雇用の創出など地域にとって主要な担い手の役割を背負っています。

一方で、全国平均や県内の他の産業と比較して建設業では高齢化と人手不足が進んで

おり、「担い手の確保・育成」と「生産性の向上」は喫緊の課題となってきました。鳥取県としても、小中学生を含めた未来世代への魅力発信や働いている方々の資格取得の応援、女性技術者の活躍などを強力に推し進め「Society 5.0」にふさわしいICTやロボットの活用、最新テクノロジーを活用した生産性の向上にも乗り出すことといたしました。

現場の声を活かし、産学官の連携を図りながら、建設業が「ふるさと未来創造産業」として、また人生を賭ける魅力ある産業として、さらなる発展を遂げるように多面的なアプローチで支援してまいります。



水を吸い上げるポンプ(昨年10月15日、興洋工務店提供)



2019年秋の台風19号とその後の低気圧による記録的豪雨は、東日本各地に甚大な被害をもたらした。鳥取県内からは、日本豪雨「以上だった」という。鳥取県内からは、鳥取県内からの派遣部隊は、13日午後切りに順次、被災地に向け出動した。

常時6人が滞在する形で、交代要員を含め実質12人を派遣した興洋工務店(鳥取市)は排水ポンプ車、照明車各1台を伴って、宮城県松島町へ。水に浸かった農地からポンプ

「知らない土地での作業。2次災害に巻き込まれないよう常に集中力が必要だった」と振り返る三宅正人さん(43)。また、最長の15日間滞在した田中久成さん(44)は「災害現場ではいかに速やかに初動できるかが大事。被災地での活動は何回か経験していたので、慌てることなくこなせた」と安

た。松島町と隣接する大崎市内に照明車で乗り付けた共栄組(北栄町)の4人は14日夕方から、吉田川での排水作業現場の夜間照明を担当。実働は午後5時〜翌午前6時。昼夜が逆になった。

ため、高速道路情報等を常に確認しながらの移動だった。大崎市までは北陸の排水ポンプ車が昼夜稼働して24時間、「行って動いてもなかなか引かない」と災害の状況が分からないという不安の中、到着までに相当の疲労が蓄積していた。

堤防の決壊により浸水した地域の水は、数十台の排水ポンプ車が昼夜稼働して24時間、「行って動いてもなかなか引かない」と災害の状況が分からないという不安の中、到着までに相当の疲労が蓄積していた。

「暮らしを守る、ライフラインを当たり前の状態に戻すのが我々の仕事のひとつ。困ったときはお互いさまで、鳥取県を代表して『よし、やるぞ』という使命感は常に持っているつもり」と話した。

原則4人1組がそれぞれの役割を持って、夜通しの作業に臨んだ。当然のことながら、定期的に行う訓練とは勝手が違う。水を吸い込むポンプを深みに移動させるため、水中に入る作業は命の危険と隣り合わせだ。

22日までの活動を終えた松本年男さん(47)は「暮らしを守る、ライフラインを当たり前の状態に戻すのが我々の仕事のひとつ。困ったときはお互いさまで、鳥取県を代表して『よし、やるぞ』という使命感は常に持っているつもり」と話した。

奮闘!

被災地で災害復旧応援

鳥取から10社派遣

使命感に夜通し排水作業

2019年秋の台風19号とその後の低気圧による記録的豪雨は、東日本各地に甚大な被害をもたらした。鳥取県内からは、日本豪雨「以上だった」という。鳥取県内からは、鳥取県内からの派遣部隊は、13日午後切りに順次、被災地に向け出動した。

開始から6日目にやっと田んぼの一角が見えてほっとした」と当時の心境を語った。

水戸市内の那珂川流域で15日から排水作業を行っていたのは美保テクノス(米子市)の6人。周囲の建物は屋根まで浸かった状態で、これまで経験したことのない規模の水害だった。

原則4人1組がそれぞれの役割を持って、夜通しの作業に臨んだ。当然のことながら、定期的に行う訓練とは勝手が違う。水を吸い込むポンプを深みに移動させるため、水中に入る作業は命の危険と隣り合わせだ。

22日までの活動を終えた松本年男さん(47)は「暮らしを守る、ライフラインを当たり前の状態に戻すのが我々の仕事のひとつ。困ったときはお互いさまで、鳥取県を代表して『よし、やるぞ』という使命感は常に持っているつもり」と話した。

「給料が良い」「休暇がとれる」「希望が持てる」。従事者の高齢化などに終止符を打つべく、建設業は今、「新3K」を提唱する。鳥取県でも技能・技術系の労働者不足が顕著化する中、地域の未来をつくる仕事、守る仕事に若者をはじめ多様な人材の活用を模索する。鳥取県建設業協会の山根敏樹会長に聞いた。

鳥取県建設業協会 山根敏樹会長に聞く

「建設業界にも働き方改革の推進が求められている。業界を底辺で支えているのは日雇いの人。休みが増えたと収入が減る。これにどう対応する

働き方改革で 新3K実現を

新3K実現を



決断するか。取り組みは始まったばかりだ。

県内の現場で働く人の7割が週休2日を求めているという調査結果が出た。協会内でも温度差があるものの、労働環境の改善など働き方改革を実践すること、若い人材確保につながる新3Kの実現を一丸となって目

指している。

「業界のイメージチェンジにもなる。従業員の健康にも配慮するなど、高いレベルで企業努力している会社もたくさんある。これまでの『荒っぽい』業界イメージは払拭しないと。」

「災害時対応での業界の地域貢献度は意外に知られていない。災害対応ですぐに出勤しなければならぬ業種だからこそ人が必要。ただ、雇用を支えるのは企業の経営基盤の安定で、そこがないと、労働環境や働く人の処遇の改善に結び付かない。理想は安定的な仕事があり、適正な利潤を得て、人を育てていくこと。人に投資できる良い循環をつくることで、地域の安全が守られていく。」



腰まで水に浸かって作業(昨年10月15日、美保テクノス提供)

吉田川の堤防が決壊し、浸水した宮城県松島町周辺(昨年10月14日、鳥取河川国道事務所提供)

「建設共済保険」以外にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ導入費用に対する助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人 建設業福祉共済団

詳しい情報、掛金試算などのお問い合わせは Tel.03-3591-8451 Fax.03-3591-8474

取扱機関: (一社) 鳥取県建設業協会

契約者と業界の発展のために

建設共済保険

検索

http://www.kyousaidan.or.jp/



備えることは、守ること。

安い掛金、手厚い補償。

(障害7級まで)

建設共済保険

法定外労災補償制度

働く人の 想いに応える、 安心を。



(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	一般社団法人 鳥取県建設業協会
-----------	-----------------

事業等の名称	就職前準備研修
主な対象者	企業（従業員含む）
主な取組区分	講演、講座、説明会
<p>1. 実施時期</p> <p>(1)平成31年3月13日（水）～15日（金）3日間 (2)平成31年3月25日（月）～27日（水）3日間 (3)平成31年4月10日（水）～12日（金）3日間 (4)平成31年4月22日（月）～24日（水）3日間 (5)令和元年5月15日（水）～17日（金）3日間</p> <p>2. 実施場所 兵庫県三田市武庫が丘6-1「三田建設技能研修センター」</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 会員企業の内定者及び就職後1年以内の新入社員 8社24名受講</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況 単独</p> <p>5. 事業等の内容 社会人としての基本の習得、労働安全衛生に対する理解、入社前の不安解消等をテーマとした研修</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果） 社会人としての基本を習得させ、建設産業に対する理解を深めさせ、入社前の不安を解消し、入社後の定着促進を図る</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>8. その他 西日本建設業保証(株)の助成により実施</p>	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

就職前準備研修カリキュラム

■ 1 日目

時間	項目	内容	形態
13:00	開講式		
13:30	オリエンテーション	研修の進め方と研修における人間関係	講義・実習
14:00	ビジネスパーソンに求められる意識－1	ビジネスパーソンに求められる意識 企業とは－会社の目的 何のために働くの？	講義・実習
16:00	スピーチ練習	自分の名前について・自己紹介 会社を選んだポイント 等	実習
17:00	ビジネスパーソンに求められる意識－2	社内でのマナー・指示・報告・計画と段取り 仕事の基本等	講義・実習
18:50		1日目のまとめ 19:00 終了予定	

■ 2 日目

時間	項目	内容	形態
9:00	ビジネスパーソンに求められるマナー (基本編)	身だしなみ あいさつ・発声・表情・姿勢－お辞儀 ・言葉遣い など	講義・実習
11:00	ビジネスパーソンに求められるマナー (社外編)	来客対応－名刺の取り扱い お客様に対する言葉遣い 等	講義・実習
12:00	昼 食		
13:00	ビジネスパーソンに求められるマナー	電話対応 電話の受け方 (基本・応用) 等 電話対応 ケーススタディ・Eメール	講義・実習
15:10	建設現場で働くための基礎知識	建設業の役割とその魅力	講義
17:00		建設現場の安全 19:00 終了予定	

■ 3 日目

時間	項目	内容	形態
9:00	ビジネスパーソンに求められるコミュニケーション	聞き方・話し方・年齢別のポイントなど 人間関係をスムーズにするために	講義・実習
10:30	建設業に求められるコミュニケーション	ケーススタディ	講義・実習
12:00	昼 食		
13:00	建設業に求められるコミュニケーション (続き)	ケーススタディ	講義・実習・発表
14:00	研修のまとめ	「働く」ことについてのまとめ 新入社員としての自分の目標・計画を立てる	実習
14:30	閉講式	修了証授与	